

---

# 高校受験

ルリ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

高校受験

### 【Nコード】

N8583D

### 【作者名】

ルリ

### 【あらすじ】

最終兵器彼女のちせとシュウジたちのお話

はじまり？（前書き）

この話は前回の懐かしい思い出から少し時間がたった話です

はじまり？

ちせ「う・・・・・・・・・・・・・・・・」

ちせは成績表をずっとみながら、机に座っていた

アケミ「どうしたのちせ？」

アケミに声をかけられて、慌ててちせは成績表を自分の机の中にか  
くした

アケミ「ふーん、もしかしてかなり悪かったの？」

ドキッ

ちせ「う・・・・・・・・・・・・・・・・」

ちせは黙りこんでしまった、それをみたアケミは笑いながら

アケミ「大丈夫、大丈夫いざとなったらシュウジがいるしょや」

ちせは顔が真っ赤になった

ちせは最近シュウジと付き合いはじめたばかりで、今はラブラブの  
はずなのだが・・・・・・・・・・・・・・・・

（帰り道）

シュウジ「・・・・・・・・・・・・・・・・」

ちせ「・・・・・・・・・・・・・・・・」

2人ともモジモジしながら一緒に帰っていた

シュウジ（なんか話さないと・・・何か・・・・・・そうだ）

ふと思いついたことをシュウジが話そうとすると

シュウジ「あのさ……成績どうだった？」

ちせ「う……………」

一番きいてはいけない事をシュウジは聞いてしまった、ちせは泣き  
そうな顔になった

シュウジ（えっ？俺なんかマズイ事いつたのか？）

そして二人は黙りこんだまま、家までたどり着いた

---

こんな感じでシュウジに相談もできず二人ともよそよしくしてい  
た……………



## はじまり？（後書き）

ちょっと短いですがすみません、仕事がありなかなか書く時間がありませんがすこしずつ書いていくのでこれからもまた宜しくお願いします



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8583d/>

---

高校受験

2010年10月9日10時54分発行